

第八回 日本文学国際会議

近現代詩の可能性

モダニズムの視点・女性の視線

混迷を深める世界の状況のなかで、

ことばの力が試されている。

メディアを飛び交う大量の情報から、

信頼に足ることばをどう見出すか。

歴史の深みや社会の広がり伝え

表現することばとはどういったものか。

いま日常・実用のことばとともに見直されるべきは、

文学のことば・詩のことばであろう。

実作と研究の枠をこえて、

「近現代詩」の可能性をフェリスから発信する。



2010年
11月19日(金)
～20日(土)

フェリス女学院大学
緑園キャンパス
8号館グリーンホール

FERRIS UNIVERSITY INTERNATIONAL CONFERENCE ON JAPANESE LITERATURE

主催



フェリス女学院大学

後援

財団法人日本近代文学館
神奈川近代文学館
財団法人神奈川文学振興会

フェリス女学院創立140周年記念事業

横浜市泉区緑園4-5-3 日本文学国際会議事務局
TEL: 045-812-9129 FAX: 045-812-9613
横浜駅より相鉄いずみ野線「緑園都市」(快速17分) 駅下車徒歩3分

URL <http://www.ferris.ac.jp>

第Ⅷ回 日本文学国際会議

近現代詩の可能性

モダニズムの視点・女性の視線

第1日 11月19日(金)

9:30 開場

9:45～9:55 開会挨拶 学長 宮坂 覺

午前 個別発表

10:00～10:40 宮沢賢治の詩とモダニズム
吉田文憲(詩人、フェリス女学院大学講師)

10:40～11:20 北川冬彦の詩について
王中忱(中国・清華大学教授)

11:20～12:00 ミニ・コンサート
「星野富弘の詩による歌曲集より(曲: なかにしあかね)」
西由起子(フェリス女学院大学講師)、なかにしあかね(宮城学院女子大学教授)

午後 パネル・講演

13:00～15:50 「モダニズムの視点と言語」

13:00～13:40 エズラ・パウンドと日本の現代詩
山内功一郎(静岡大学准教授)

13:40～14:20 西脇順三郎の詩論: 日本文脈における〈現代思想〉の視点から
林少陽(香港・香港城市大学准教授)

(休憩 14:20～14:30)

14:30～15:10 吉岡実の衝撃力
エリック・セランド(詩人、翻訳家)

15:10～15:50 詩の現場、最前線におけるモダニズムの影響
城戸朱理(詩人、評論家)

(休憩 15:50～16:00)

16:00～17:00 詩人・城戸朱理による朗読と講演

第2日 11月20日(土)

午前 個別発表

9:30 開場

10:00～10:40 漱石『文学論』と詩的言語 —『漾虚集』を中心に—
山本真里江(フェリス女学院大学大学院博士後期課程)

10:40～11:20 童謡詩人・金子みすゞの受容パラダイム
藤本恵(都留文科大学准教授)

11:20～12:00 「1990 “うたげ” が終わった後 — 東アジア女性詩事情」
蘭明(実践女子大学教授)

午後 個別発表・講演

13:00～13:40 石牟礼道子を読む: 『はにかみの国』を中心に
上田眞木子(フランス・国立東洋言語文化学院准教授)

13:40～14:20 伊藤比呂美: とげ抜き新巢鴨地蔵縁起
安倍オースタッド玲子(ノルウェー・オスロ大学教授)

(休憩 14:20～14:30)

14:30～15:30 詩人・伊藤比呂美による朗読と講演

(休憩 15:30～15:40)

15:40～16:50 全体討論

16:50～17:00 閉会挨拶 日本文学科主任・教授 藤江峰夫